

様式 1

県立大子清流学校【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

<p>人間尊重の精神を基盤に、社会の変化に主体的に対応できる、個性的で創造性や国際性に富む、心豊かな人間を育成する。</p> <p><めざす学校像></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の生徒を大切にし、対話を基本としたきめ細かな教育を行う学校 ○自分の将来を深く考え、主体的に進路実現ができる能力を育む学校 ○安心して学べる教育環境を提供できる学校 ○地域と共生し、地域創生に貢献できる教育を行う学校 <p><めざす生徒像></p> <ul style="list-style-type: none"> ○個性を尊重し、心のつながりを大切にする生徒 ○責任感があり、社会の発展に貢献できる生徒 ○目的意識を持ち、主体的に学習する生徒
--

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<p>(1) 地元や他の地域、他国などを探究する過程を通して、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付ける。</p> <p>(2) 実社会や実生活と自己との関わりから課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現し、社会の変化に主体的に対応できる力を身につける。</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。SDGsの視点を意識し、持続可能な社会の実現のため行動できる。</p>	<p>生徒は、授業ごとに振り返りシートによる自己評価を行う。教員も授業ごとに1つの評価項目を選択しループブックによる評価を行う。それらを記録し、年度末に総合的に評価する。</p> <p>① 知識および技能：幅広い教養と課題発見・解決のための知識および技能が身につけている。</p> <p>② 思考・判断・表現：論理的に考え、批判的に掘り下げ、それらを他者へ分かり易く伝えられる。</p> <p>③ 学びに向かう力、人間性など：主体的に取り組むことができるか。他者と協力・協働することができる。持続可能な社会の実現のため行動できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共に学び共に育つ理念を共有する教育を行う。 ・ 一人一人の状態を把握し、一人一人の能力の伸長を図る。 ・ コミュニケーション及び人との関わりを広げる工夫を行う。

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（ ）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1年	<p>「自身や社会、地域、世界を知る」～大子町から世界を考える～</p> <p>(1) 自己分析を行い今後の進路について考える。</p> <p>(2) 地域の魅力と課題について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公営塾「ことのぼ」 ・ 大子町 ・ 地元企業 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に物事に取り組み、発言や行動に自信を持てる生徒。 ・ 他者とコミュニケーションを円滑に行い、協力・協働しながらお互いを高めあえる生徒。

様式 1

<p>2年</p>	<p>(1) 地域の特産品や観光資源の魅力を発見し、地域課題を解決するために商品開発に努める。</p> <p>(2) 地域の企業への理解を深め、将来働くことを見据えた進路選択に繋げる。(企業見学・インターンシップ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大子町公営塾 ・大子町役場 ・大子町各事業所 ・大子町各民間企業 ・道の駅奥久慈だいが WEST 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を愛し、地域に貢献することができる生徒。 ・地域の情報を多角的に収集・分析し、その根拠に基づいて具体的な課題解決策を提案できるとともに、社会の実態に即して自らの進路を論理的に設計できる生徒。
<p>3年</p>	<p>(1) 進路の探究(進路実現)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己を見つめ、自分が進もうとする未来像を描き、今の自分が取り組むべきことを理解する。 ・インターネット、書籍、先輩の声などを活用して情報を収集する。 ・進路ガイダンス、企業説明会に参加して生きた情報に触れる。 ・自分の進路に関する情報を整理し分析する。 ・自分の進路に向けてすべきことを整理する。 ・まとめ、自分の進路への取り組みの指針とする。 ・下級生に向け、自身の進路実現の過程及びその成果を発表する。 <p>(2) 卒業後の生活に向けて現代社会を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業後実社会で生活する上で必要なことをインターネットや書籍を活用して学習する。 ・各種セミナー(年金など)に参加する。 ・社会に対して自分がした方が良く、しなければならぬことを整理する。 ・相互に意見交換し考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大子町 ・税務署 ・ことの間 ・進路ガイダンス幹旋業者 ・ハローワーク ・各種大学・専門学校 ・地域企業 ・衣料品企業 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・協働的に取り組み、自己に適した進路を実現しようとするため、設定した課題について、情報を集め、整理・分析して、自らの進路に生かそうとする力を身につけた生徒。